



## 奥入瀬観光ガイドが トンネル工事現場を見学

青ぶな山トンネル避難坑  
平成31年2月24日1702m

開催日:H31.2.24/人数:9名



2月23日・24日の両日、奥入瀬観光ガイド35名が、奥入瀬(青樺山)バイパスで施工中の青ぶな山トンネル工事

『避難坑』の工事現場を見学しました。

奥入瀬(青樺山)バイパスは、一般国道103号の青森県十和田市青樺山～十和田市子ノ口の幅員狭小、線形不良及び急勾配の隘路区間や交通規制区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした道路です。

見学会では、工事概要の説明を受けたあと、トンネル内部の施工作業の説明を受けながら、実際の作業状況を見学しました。

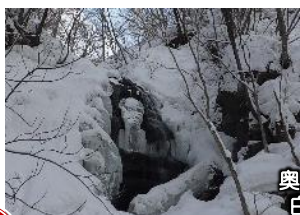
※避難坑とは、本坑に先駆けて掘削し地質や土質、水脈の調査などを行うということと、本坑開通後に車両事故等があった場合の避難路となるという二つの役割があります。



開催日:H31.2.23/人数:11名



開催日:H31.2.24/人数:7名



奥入瀬溪流  
白布の滝

声

当日は、トンネルの内部見学の前に、工程や構造、使用している重機や地層の話までわかりやすく丁寧に説明頂きました。完成すれば全長約4500mの青森県で一番長いトンネルが誕生することや、十和田火山の堆積物で出来た土壌は地下水が豊富で、滝が沢山ある奥入瀬溪流に影響が出ないように工事が進められていることに凄さを感じながら説明を聞いておりました。避難坑の内部は思ったより暖かく奥に行くほど勾配が増し、トンネルに打たれたボルトからは水が滴り落ちてきたりと内部の状態の変化も肌で感じる事ができました。トンネル内部で一口頂いた地下水は柔らかくてまろみがあり大変おいしいお水でした。レーザーを照射し寸分の狂いが無いように工程が進められていることや、想像していたより少人数で作業をされていることに驚きました。

今回お見せ頂いたことは今後のガイドに役立て、お客様に未来の奥入瀬を想像して頂き、興味を持って頂けるような話の種にしていきます。

声

青ぶな山トンネルを掘っているとは知っていたものの、今回見学をさせていただいて改めて実感いたしました。今現在1700mにも及ぶ長いトンネルだったということや、地質によって掘り方を変えていたり、現場の方が安全に実直なお仕事をされていることを知ることができて良かったです。

今後、青樺バイパスが完成した後に奥入瀬溪流はどのように変化し、観光に活かしていけるのかも考えさせられました。

声

とても勉強になりました！働く方の安全第一を優先した作業工程、トンネルの長さ、10年程かかるということ、初めて見る使用機械たち、本当に新鮮でおどろく事ばかりで楽しかったです！また、トンネル内を初めて歩いてみて、働いている方々への感謝と、いつも外側からしかみていなかったが、自然の内部をのぞけた気分で感動しました！ありがとうございました！